

平成 29 年第 9 回

札幌市教育委員会会議録

※ 非公開に係る議案を除く

平成 29 年第 9 回教育委員会会議

1 日 時 平成29年 4 月14日（金） 13時30分～13時50分

2 場 所 S T V 北 2 条ビル 4 階 教育委員会会議室

3 出席者

教 育 長	長 岡	豊 彦
委 員	池 田	光 司
委 員	佐 藤	淳
委 員	長 田	正 寛
教育次長	大 友	裕 之
生涯学習部長	山 根	直 樹
庶務係員	山 本	裕 奈
庶務係員	洞 内	亮
学校施設担当部長	平 野	誠
学校施設課長	永 本	宏
計画係長	中	克 尋
計画係	石 崎	大 輔
学校規模適正化担当課長	永 澤	美 樹
学校規模適正化担当係長	小 林	義 和
学校規模適正化担当係長	松 本	淳 吾
学校規模適正化担当係	恩 田	菜都美
学校教育部長	引 地	秀 美
学事係	藤 田	慎一朗
高等学校プロジェクト担当係長	小 林	英 輔
高等学校担当係長	幸 丸	政 貴
教職員担当部長	檜 田	英 樹
調整担当部長	佐 藤	伸 二
総務課長	宮 地	宏 明
庶務係長	國 方	大 翼
書 記	吉 田	望

4 傍聴者 0 名

5 議 題

議案第 1 号 札幌市立小学校の通学区域の設定について

【開 会】

○長岡教育長 これより、平成 29 年第 9 回教育委員会会議を開会いたします。

本日の会議録の署名は、佐藤淳委員と長田正寛委員にお願いいたします。

本日は、池田官司委員、阿部夕子委員から、所用により会議を欠席される旨の連絡がございました。

【議 事】

◎議案第 1 号 札幌市立小学校の通学区域の設定について

○長岡教育長 議事に入ります。議案第 1 号「札幌市立小学校の通学区域の設定について」です。事務局から説明をお願いします。

○学校施設担当部長 議案第 1 号の「札幌市立小学校の通学区域の設定について」ご説明いたします。

皆さま、御承知のとおり、通学区域の設定及び変更に関することにつきましては、「札幌市教育委員会事務委任等規則」第 2 条において、教育委員会の権限に属する事務とされております。「札幌市立小学校及び中学校通学区域審議会」の答申等を基に、教育委員会会議にて決定いただくものです。

本議案は、平成 31 年 4 月に南区の石山小学校及び石山南小学校を廃止し、新たにこれらを統合した小学校 1 校を開校することに伴い、新設校の通学区域を設定するため、教育委員会会議にお諮りするものでございます。

資料のご説明の前に、今回の統合に係る経緯について、概要を御説明させていただきます。

石山地区においては、平成 5 年以降、児童数の減少が続いていることを受け、平成 25 年に教育委員会で策定しました「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する地域選定プラン〔第 2 次プラン〕」において、学校規模適正化の検討対象地域に指定いたしました。

翌年には、地域住民や保護者等で構成する「学校規模適正化検討委員会」を設置して、現在も様々な観点から御検討いただいているところです。

統合校の通学区域案につきましては、昨年 2 月に学校規模適正化検討委員会から提出された意見書の中に「石山小学校と石山南小学校の現在の通学区域を合わせたものとする」内容が盛り込まれていたことから、この意見を尊重し、本年 1 月 12 日に開催されました通学区域審議会に諮問し、妥当との答申をいただいております。

それでは、お手元の資料をご覧ください、資料に沿って御説明させていただきます。

別添の資料に統合後の小学校の位置及び通学区域という図面がございます。また、参考資料の 1 枚目に現在の小学校の位置、通学区域がございますので、併せてご覧いただければと思います。

統合校の通学区域は、現在の石山小学校及び石山南小学校の通学区域を合わせた区域となります。別添資料では、ピンク色になっている部分、参考資料では、青と黄色を合わせた部分となっております。この区域に住む児童は、現在

の石山小学校の敷地に新築される統合校に通うこととなります。資料のちょうど真ん中あたりに石山地区新設小学校という表示がございます。

参考資料の2枚目に、統合校までの通学距離を示した資料を添付しており、通学距離を一覧にしております。現在の石山小学校の校区で、学校までの最も遠い距離は1.8 kmですが、図面の下の黄色の部分、現在の石山南小学校の校区においては、新設の小学校まで、南側で2 kmを超える地域があり、通学定期料金の助成制度の対象となる予定です。この資料の囲みの中に記載しておりますが、現時点では、児童が7名おり、今後もほぼ同数で推移する見込みです。

なお、その他、参考資料として、通学区域審議会の答申書の写し、学校設置条例の改正に係る公布文を参考までに、添付させていただいております。

通学区域の実施日につきましては、統合校開校の時期に合わせ、平成31年4月1日とします。

また、現時点において統合校を仮称としていることから、通学区域の設定に係る告示については、本議案が可決後、同校の正式名称が決定次第、速やかに行いたいと考えております。

以上で、説明を終わらせていただきます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○長岡教育長 ありがとうございます。議案第1号の説明について、ご質問、ご意見等はございましたら、お願いします。

○池田（光）委員 通学距離が、気になっておりますが、そういったものが分かる資料は、本日の議案に添付されていないのでしょうか。

○学校施設担当部長 資料で黄色く塗っている部分が、通学距離が2 kmを超える地域で、その地域に7名いるということです。

○池田（光）委員 この7名の方は、どこからどのように学校に行くことになるのでしょうか。

○学校規模適正化担当課長 この黄色の部分の奥に、六区西のバス停の奥に、石山六区などのバス停があります。それぞれの最寄りのバス停からバスに乗っていただき、例えば六区西からですと、石山小学校のバス停まで所要時間7分程度となっております。

○池田（光）委員 この六区西のバス停から、直接、石山地区新設小学校まで、

バスが行くということなのでしょうか。

○学校規模適正化担当課長 はい。

○池田（光）委員 再確認ですが、以前議論した際に、時間帯など問題がなかったと記憶していますが、その点も大丈夫ということでしょうか。

○学校規模適正化担当課長 はい。石山六区始発になりますが、7時25分発と、7時55分発がありまして、学校到着が、7時35分、8時5分となっています。

○池田（光）委員 分かりました。帰りも同じような状況でしょうか。

○学校規模適正化担当課長 帰りは、石山小学校発が、早い時間は13時40分です。その後は、15時8分、16時39分となっています。

○池田（光）委員 まだ決まっていないと思いますが、例えば、15時5分に授業が終わって、16時39分のバスに乗るといったようなこともある可能性があるのでしょうか。

○学校規模適正化担当課長 通学安全の関係につきましては、今後の検討になりますが、必要があれば、バス会社にもご協力等をお願いしていきたいと思っております。

○佐藤委員 通学区域の設定に関しては、通学区域審議会でご検討いただいたということなので、この議案の内容で問題ないと思います。

1点確認させていただきたいのですが、今回いただいた石山部会ニュースに、地域の皆さんから、統合後廃止した両校の記念品とか、スポーツが盛んなので、青少年と大人の運動の場を確保できるような形で活用してほしいとか、保育園を移転できればいいとか、寄贈品の扱いなどの意見が寄せられていますが、こうした意見に対して、現在、どの程度まで教育委員会としてご対応することを考えているのかということをお教えしてほしいです。

その趣旨としては、資生館小学校を作った時に、地下に廃止した学校のジオラマを作ったり、門柱を飾ったり、といった記念館のようなものを作りましたよね。当時のあやふやな記憶ですが、ジオラマ等に相当なお金が使われていたのではないかと思います。そうした資金的な側面と、こういうご要望への対応をどの程度勘案して、実現していけばいいのかなという私の思いがあるので、

もし、ご対応について方向性が現時点であるのであれば、教えていただきたいです。

○学校規模適正化担当課長 1点目の新設校に作るメモリアルスペースにつきましては、新しい学校の正面から入ったところと、右手側の図書室に、今設計図面では用意しております。

それをどのようなしつらえにするかは、例えば、今までの統合校につきましては、それぞれの小学校の歴史を展示するようなスペースでしたが、今回の石山地区につきましては、石山地区の歴史を展示することによって、石山地区の歴史の中に、石山小学校、石山南小学校というのがあるのもいいのではないかとといった御意見もいただいておりますので、それらについては、今後検討していきたいと思っております。

2点目の石山南小学校の跡活用につきましては、札幌市役所の都市計画部が主に担当しており、平成28年度は、石山南小学校の周辺地域の基礎調査をしていただきました。その調査結果を基に、都市計画部と一緒に、地域の方とご相談しながら、活用を考えていくといった流れになっております。

○池田（光）委員 この石山地区の統合について、これまで議論した中で、大きな課題はどのようなことがあったのでしょうか。そして、それが解決しているかどうか、もう一度確認させていただければと思います。

○学校規模適正化担当課長 現時点で、学校の組み合わせも統合する場所も決定し、今までの検討の中で、まちづくりセンターと児童会館も新しい小学校と複合化することは決まっています。

あと、地域から、石山軟石を新しい学校にも使用してほしいという要望がありましたので、今後の設計のなかで、対応可能なところについては検討していきます。

今後の課題といいますか、現状取り組んでいることにつきましては、新しい学校の学校名をどうするかということです。昨年秋に、地域の皆さんを対象に公募したところ、たくさんの意見が寄せられており、引き続き、部会で検討しているところです。

そのほかにつきましては、先ほど佐藤委員からもお話がありましており、跡活用の話ですとか、通学に係るバス事業者との調整などが、今後行っていかなければいけないものと考えています。

あと、統合前のそれぞれの学校の子どもたちや保護者を含めての交流事業や、それぞれの学校が、閉校しますので、閉校式なども、学校主体でご検討いただ

くこととなります。

○池田（光）委員 地域の住民から、校名のことや、地域にメモリアルのようなものを残すといったことや、地域の文化を守ってほしいといった意見もあった記憶があるのですが、そういった点は整理されたのでしょうか。

○学校規模適正化担当課長 地域の文化ということであれば、例えば、新しい学校のメモリアルスペースをどのように整備していくかといった部分で、地域の皆さまの御意見を聞きながら整備していきたいと思っています。

あと、校名につきましては、石山南小学校と石山小学校のどちらも閉校して、新しい学校が整備されるので、新しい名前を付けようといった部会としての方向性は出ております。一方で、石山小学校は開校してから、もうすぐ120年という歴史のある学校なので、古くからお住まいで、昔、石山小学校を御卒業された一部の方からは、やはり石山小学校の敷地に新しい小学校が建つので、石山小学校という名前を残してほしいという想いも聞いております。そういった方のお話も受け止めつつ、新しい学校作りに向けて進めていきたいと思っています。

○長岡教育長 ほかに、よろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○長岡教育長 それでは、議案第1号については、提案どおり決定してよろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

○長岡教育長 それでは、そのように決定します。

【閉 会】

○長岡教育長 本日予定された議案は以上となりますが、各委員から何かございますか。

(「なし」と発言する者あり)

○長岡教育長 以上で、平成29年第9回教育委員会会議を終了いたします。

以 上